

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせた作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄  
 No. A-49

【様式 2】

<b>部門名：</b> 1 カリキュラム・マネジメント実践	<b>エントリー名：</b> 新潟県柏崎市立第二中学校 事務主幹 堀井美織 平成30年度教職員中央研修 第1回事務職員研修
<b>活動名：</b> 財務で学校マネジメント 「教育活動と財務の一体化」の推進	
<b>解決すべき課題：</b> 教育活動と財務の一体化を促進するために 所属するエリアの共同実施では、「全予算一覧表（予算の見える化）」はじめ予算の有効活用に取り組んでいるが、十分に効果を実感できない面もあった。他職種との連携不足も一因と考える。 中央研修では、財務によって教育活動を広げられることが、学校財務マネジメントであると学んだ。事務職員も他の職種も、「教育活動と財務の一体化」を学び意識が高まることで、予算の有効活用が促進されることを目指したい。	
<b>目標・方針：</b> ※課題を解決するためにどんなストーリーやシナリオを構想して、活動内容を組み立てたのか、記載してください。 1 教頭職と事務職員が共に「学校財務マネジメント」を学ぶことで、「教育活動と財務の一体化」の意識を高め他職種との協働による、各校の学校づくり・教育目標達成のための予算有効活用促進につなげる。 2 財務マネジメントに限らず、学校の教育活動の内容や様々な課題について、全職種が共通認識をもてるように、教職員支援機構の研修動画の幅広い利活用を促進する。	
<b>活動内容：</b> ※目標・方針に基づいてどのような活動を行ったか、また、複数の活動を展開した場合はその位置づけや関連性を記載してください 1 ①所属共同実施エリアの教頭・事務職員の合同研修会で、「学校マネジメント」研修を実施。 ・中央研修の「学校財務マネジメント」講師を務められた、末富芳先生を招聘しての講義。 ・教頭職作成の「教育財務戦略シート」図1を使い教育活動と予算を一体化して考えるグループワーク。 ② 中央研修伝達講習（県内事務職員対象）でNITS研修動画「学校財務マネジメント」を視聴。 ③ 勤務校内の財務研修で、中央研修「学校財務マネジメント」講義内容の一部を伝達。 2 ①新潟県教育委員会の教育支援システムに、教職員支援機構とのリンクを依頼。 ②柏崎市教育委員会の教育情報支援システムに、教職員支援機構とのリンクを依頼	
<b>活動の成果：</b> ※課題設定に対して、どんな影響、変化があったか、参加者の声など客観的な情報・データとともに記入して下さい。 1 ①財務マネジメント研修に対する事後アンケートの結果は教頭職・事務職員とも良い評価であった。→表1 また、現在NITSにアップされている、「学校財務マネジメント」研修動画内で、活動内容1の研修会と、図1の「教育財務戦略シート」が紹介されている。「教育と財務の一体化」の取組が、所属地域以外にも広がるのが期待できる。 ②中央研修の講義内容を、研修者が直接視聴でき、効果的効率的な伝達となった。 ③校内研修事後アンケートから（研修で良かったこと、業務に役立つこと、実践できること等について） 「（学校の）プラットフォーム化」「経済的理由で子供が将来をあきらめないよう配慮する視点をもらった」 2 ①新潟県教育委員会の教育支援システムに、教職員支援機構とのリンクが設定された。 ②柏崎市教育委員会・小中学校の校務支援システムにNITS研修動画との共通リンクが設定された。	
<b>アピールポイント（アイデアや工夫）：</b> ※3～5つ程度、箇条書きしてください 1 講義の内容は勿論、両職種とも話し合いの必要を感じているものの、日常業務が多忙で機会設定が難しい現状があるため、協議時間が設定されたこと、グループワークで他校の様子が出た点についても高評価であり、良い契機となった。 2 NITSの研修動画は、中央研修の講師の方々の講義を誰でも視聴でき、校内研修に限らず多様な活用が考えられる。また、HPからはNITS大賞はじめ現場の実践も多く学べる。今後も周知に努めたい。	

<写真、図表添付欄>

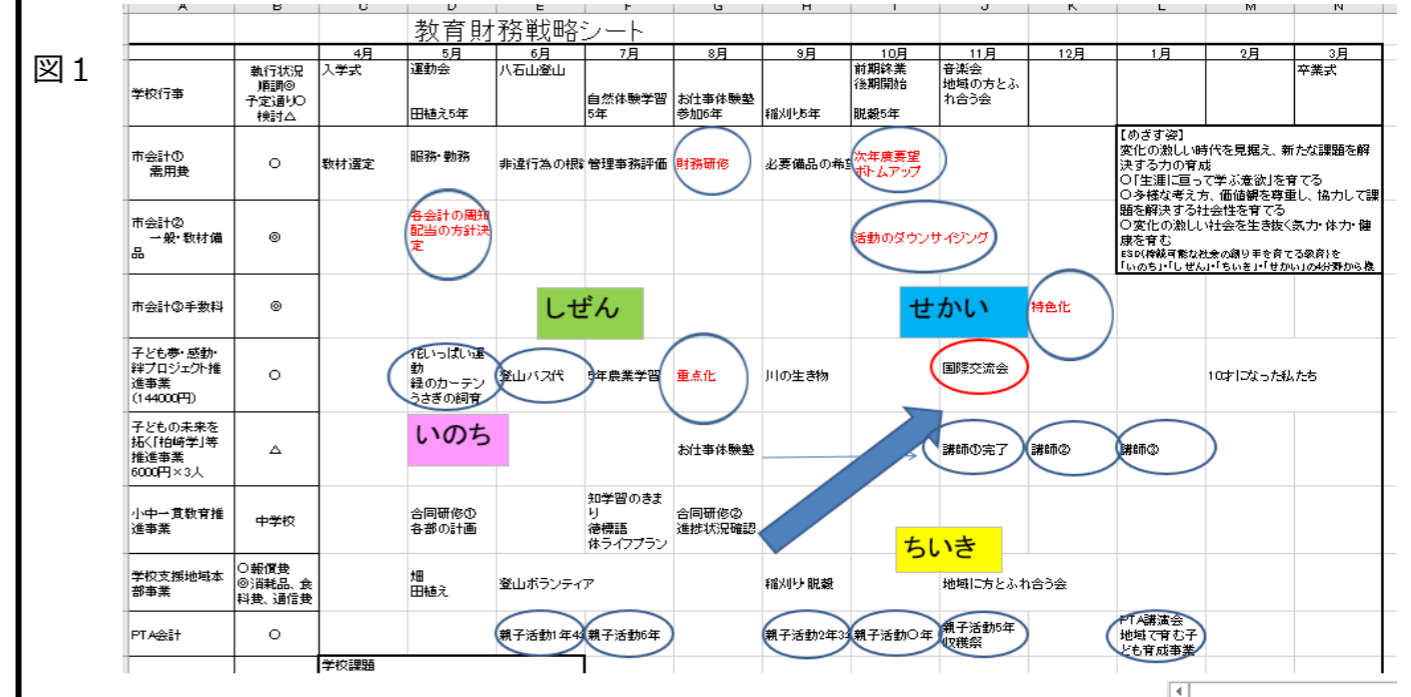


表 1

平成30年度 教頭・事務職員合同研修会アンケート集計（全体）		※一部抜粋		
講演内容について	とても参考になった	37	あまり参考にならなかった	0
	参考になった	19	参考にならなかった	0
グループワークについて	とても参考になった	34	あまり参考にならなかった	0
	参考になった	23	参考にならなかった	0
役職	校種	講演内容について	グループワークについて	自校での実践に取り入れてみたいこと
教頭	小学校	課題をみつめる目をもたせてもらった内容だった。予算全体をとらえることが大切であることがわかった。（有効に予算を執行するには…）評価をするということが新しい視点。分散型リーダーシップを発揮できるよう、教頭として頑張らなければいけずと反省させられました。財源とカリキュラムの活用について新たな視点がわかった。	自校の状態を確認できた。他校の話が参考になった。他校の様子やわかったこと。情報共有ができ、よかった。日頃事務職員と情報交換していることをワークシートに落とし込むことで、視覚的に理解することができました。すべての会計がどの時期・どんな活動に使われるか一目でわかりました。普段毎日顔を合わせていても、学校で改めて事務職員とこのような話をするのがほとんどないので、とても有意義だったと思います。学校課題の解決策のヒントを得た。	職員が話し合う場、時間の設定をし、計画的に予算を執行できるようにする。予算の有効利用（効率化）を図る取組を積極的に進めていく。財源の再考と適正配分。教育財務についての校内研修。子ども支援、教員支援のために人的補助をどのように学校単位でやれるか。保護者、地域をまきこんで予算の有効活用の視点で考えていきたい。職員へ周知徹底し、PDCAサイクルで健全な執行を行う。校長の経営方針と、職員がやりがいを感じられるように、有効にお金が使えるよう来年度に向けて準備します。
	中学校	校長のビジョンにそってダイナミックな予算配分をすることが大切だとわかった。予算…財務のマネジメントが大切なことがわかった。校長、事務職員と考えを共有して子どものために執行していきたい。	学校課題と予算配分・用途について事務職員さんと話ができたとよかった。自校や他校のことが知れてよかった。事務職員と当校の会計・財務について、話し合うのは重要な機会となった。	報償費を小中(学校区)でそろえてほしいのか、学校区での話し合いが必要だと思いました。子どもの成長に向けた効果的な予算の使用・活用について、予算委員会の定例化。職員のコスト意識の向上、予算に対する費用対効果。
事務職員	小学校	後半部分の貧困問題のお話がとても興味深かった。管理職・教職員・事務職員が一緒になって学校財務を作り上げていくことが必要だと思った。そのため情報の共有、意識を高めることが大切。就学援助の名簿を回覧します。組み替え自由な予算とあってほしいです。「教育活動」と「財務マネジメント」を教頭先生や職員と話し合いながらリンクさせていきたいと思います。自治体によって違うことばかりだったので、研修で計画と評価をしっかりと行っているところがあるとは知らなかった。	学校の教育活動についての理解が深まった。他校の工夫している事等を聞いて参考にになりました。各校共通の課題もあるので市教委と連携して改善を図ってきたい。他校に、自校にない補助金があったので、調べてみたい。他校の予算の使い方を見ることができたのが良かった。他校の様子を聞くことができて良かったです。自校の問題点や改善点を教頭先生と話し合うことができる貴重な場でした。	私費負担区分の学級消耗品の洗い出し、公費負担(市会計)の切替え。各会計の執行状況について職員全員で話し合う場を定期的に設けることができるといいなと思いました。年度当初に校長の経営ビジョンや目指す子供の姿を共有し、その実現のための予算配分を考えていきたい。市会計の予算(費用費)に自由に使えるものを入れたい。職員と情報の共有。予算委員会の活性化。市会計を活かして保護者負担軽減、年度当初に年間指導計画を立て見直しをもたせること。
	中学校	自分の持っている予算財務の情報をほとんど共有していったほうがよいことがわかりました。「真水」の予算、就学援助世帯の情報の共有などでできていないことがあったので参考にになりました。時間・人材のためにお金を使うという発想。これからの学	当校の来年度に向けた予算付けの大きめな方向を決めることができました。他校の予算についてどう執行しているか、どの点で困っているかを共有できた。学校財務について当校のことも他校のことも様々な情報が得られました。	市会計予算を教育活動、授業改善へつなげる。予算一覧表を紙ではなく、もう少し早めには作成できたらと思いました。職員が財務について話し合い、予算の有効活用の視点を持ちつつ、他職と相談する。教頭先生、忙しいですが、ゆっくりに予算について相談でき